

10/25(日)14:00~15:40 清和台南小 参加者64名 発言者 7名  
...ご質問、ご意見 ...川西市教育委員会の説明

<未就学 保護者>

登下校の安全性について具体案が出ていないのですが、結局、体のいい答えを出して、親が泣き寝入りしないといけない結果になるのではないかと、心配なのですが。

実際、今の段階でも結構遠い地区の方もおられます。道の安全性も含めて、これからどれくらいのお子さんの数が、どういう登校班で行けばいいのか、そもそもこんな小さい子がこんな坂道を雨の日も晴れの日もいけるのかという心配な気持ちは十分わかります。

これから予算要求をしていって、できることできないことを決めていく必要がありますので、今の率直な要望を具体的にお伺いできれば、どういう予算措置があるかなど考えます。問題意識は十分持っています。この先もご意見をお聞きしたいと思っています。

こちらから何か提案すれば、考えてもらえるということですか。

具体的な予算のことなどもあるので、具体的な案をお持ちであれば出していただければと思います。統合をするわけですから、バスのこととか、検討していきたいと思っています。ただ、教育委員会事務局だけで答えを出せないものもあるので、時間はいただきたいと思います。

希望としては、下校時も集団下校、今の時期は日が暮れるのも早いので、誰かしら責任の持てる方が引率するという形の安全配慮がほしいです。親としては距離が長い分、小さい子が下校するのは心配なので。

<未就学 保護者>

予算が...ということですが、子どもの教育のためには市の財源を十分に使ってもらっていいと思うんです。かつ、手厚い措置もついていると思います。なので市長部局に強く要請して、予算をもらわないといけないと思います。

要望として、通学の時、地域の方に頼るのではなく、市の行政側から委託や警備員をつけるとか、配慮していただきたい。

決して予算が...と逃げたわけではありませんが、我々の立場としては、万が一できないときがあり確約が出来ないので、どうしても消極的な発言しかできません。決して何もしないで、親や地域に任せっぱなしにするということはありません。

また、教育に関していえば、これから次世代を担う子どもたちのためにと事務局でも強く思っております。統合とは非常に大きな問題で、数年前から統合について考えていかなけれ

ばならないと課題は提示されていました。統合のことで、子どもはもちろん、教職員・地域のかたにもご負担をかけていることは、市長部局に十分認識していただくよう努めたいと考えています。

おそらく今、川西市の財調は8億円ほどしかなく、非常に財政にゆとりがあるという状況ではないと思います。それは今までの運営にも責任があるはずだと思うんです。他の近隣の阪神各地はそんなに財政状況が悪いところはないはずなので、職員の皆様が改善していただくしかないと思います。事務局等、市の職員挙げて直していただきたいと思いますのでお願いします。

また、審議会の意見の中でもあったのですが、たぶん審議会自体出来レースなので仕方ないと思いますが、単学級になる事でクラスでいじめが起こった時にクラス替えが出来ないと、子どものことを最優先に考えていただいていると思います。ではなぜ、清和台小学校に単学級が発生するのが分かっていた、例えば7年前、生まれた数で把握できる状態になった時に、審議会を行っていなかったのか。この辺で事務局に不信感を抱くんですが、国の手引きが出るのを待っていた、言い訳を待っていたとしか思えないです。その辺に意見をいただきたいです。

平成6年度に最初の校区審議会が行われ、このエリアとグリーンハイツのエリアは、長期間注意してみるようにと当時から言われております。毎年推計を出すのですが、子どもの数は何とか持っていたわけなんです。この度、今の審議会の先生方に入ってください前に、26年度数値は出ておりませんでした。今引き受けてられる先生方というのは、統合の話はご存じない状態で引き受けていただいています。ところが26年度推計をしたときに、初めて将来単学級が生じることが分かり、案件が加わったということなんです。今の校区審の先生方は本市のこの状況を初めて26年度に知られたということで、決して出来レースではございません。

あわせて申し上げますと、国の統計や手引きを待たなくても、ずっと少子化の傾向はあったじゃないかという意見があります。具体的に有効な策があったとは思えませんし、何らかの形で市長部局も対策は打ってきたはずですが、有効に効果のないまま今の状態になりました。

活性化のタイミングとして高速のインターの話が出てきて、そのあたりを複合的に見て、この先もう一度考えなければと思っています。少子化対策は、直接教育委員会ができない部分がありますが、出来る部分については今後もやっっていこうと思っています。

事務局側の出来レースと思っているだけで、審議会も事務局が答えをつくって出ているのかと思うのですが。

推計値とおっしゃいますが、今生まれた人口推計をしているだけですよね。地方創生などが叫ばれている中で、川西市の人口推計はおそらく出ていないと思うのですが、それを加味した状態で審議が出来ているのですか。

基本的に審議会の中では住民基本台帳から見えますが、庁内でも20年後30年後の人口推計を出しているんな数値を当てはめています。計算方法によってグラフが変わったり、

施策によって違うということもあるので、どれだけ正確に読み取れるか難しいところもあると思います。人口が増えるような施策を行っていかねばならないと検討していますが、少子化が進んでいるという状況はひとつの傾向かと捉えています。

数が少なくなってくることは仕方ないと思っていますし、それによって弊害が起きると認識していますので、この中の対策をしていただきたいと思います。

最後に一つだけ、校区外就学について、かなり遠いところから行っている方にとっては意味があるのかなと思うのですが、先ほど公平性を著しく欠かないようにしたいとおっしゃっていましたが、校区ギリギリの方で統合することが分かってるので最初から、と思ってる方がかなり多くいたら、残された側が例えば15人20人しか残らなかった場合、それが教育として本当に平等性を欠かないのか。それなら、始めから何年度の生徒からこっち、とする方がまだましではないでしょうか。

逆にいじめのことを考えると、途中で少ない人数で引っ付いてきていじめられるようになったらと、デメリットがあるのではと感じます。ギリギリの人が救えますという説明だったが、そういうものではなく公平という観点から考えていただきたいと思います。

校区外就学の考え方は非常に難しく、あくまで予定ですが、統合がこのまま進んだ時に、最初から行きたかったと言われる方もおられるかもしれません。一方、あまりにも多くの方が移動されると、残された学校の学級は少なくなる。このバランスは非常に難しいと考えております。統合する時に一緒になるのであれば、もともとの校区の学校に行っていただきたい。小学校同士がそれぞれ合同の行事をしたりする中で交流を深めていって、統合という形かと思えます。同時に、いろんなご事情のご家族もいる中で、統合を進めようとしたときに一律5%で絞ってしまっているのかと葛藤しています。当該学校とも相談したいと思います。

どれくらいの方が希望されるのかを睨みながら進めていく必要があると思っています。万が一単学級になった場合は、それなりの人的配置も考えていく必要があると考えています。

校区が遠くなるので、地方創生やっていく中で、できるだけ保護者の負担が過度にならないような案を進めていただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

<在籍 保護者>

31年度に統合ということですが、P6の「新入学生から清和台南小学校校舎使用」ということは、2年生から上はそのまま清和台小学校の校舎を使うということですか。

1年生だけでなく全学年移動する形を考えています。

P7の下に「小小合同行事の実施」とありますが、これは統合前に運動会などを一緒にするという事ですか。

統合前に小学生の不安や心配を軽減し、より望ましい人間関係づくりをしていきたいと思うので、出来るところで合同の行事を充実していきたいと考えています。

<未就学 保護者>

教職員の数の話で、例えば単学級から統合して2学級になった場合でも担任プラス2、3人とおっしゃっていましたが、その数は教育委員会の方でもう少し増やせないのでしょうか。というのも、小学校の先生はかなり多くの仕事があって、本来やっていけないんじゃないかと思うんです。それでPTAや保護者に負担が結構あるのではと思います。

本当に日頃保護者の方、地域の方に支えていただいて教育活動させていただいていることは、重々承知しております。教職員の数というのは、そもそも国の法律で決まっております、それに加えて県の方で教員をつけていくという形もとっています。なんとかもう少し数を増やしてほしいという声は県や国に対して挙げていきたいと思っています。

また、県費の教職員ということで、市で教員を雇っていることはありません。国県の方で負担していただくべきものであり、例えば定員数を変えると、市全体で定員を変えることになり非常に大きい負担になります。ただ国の方も、文科省が財務省に中学校3年生まで35人学級を実施してほしいと要求していますが、35人学級にしたところで...とやり取りがあります。うちも市として国に対してそういう要望をしています。市費としては各校に生活相談員であるとか介助員という方たちを付けさせていただいています。

<地域の方>

31年度から統合の予定という説明を、27年度にする。行政にとってはそれで十分と思われるのかもしれませんが、地域の住民・保護者・お子さんにとっては、教育は非常に重要なことです。教育によってどこに住居を構えるかということまで考える方もたくさんいるのですから。

学年1クラスになったらこういうデメリットがあるとおっしゃっていたが、それはそうだと思います。統合した後の児童数はP5に出ておりますが、毎年すごい勢いで人数が減っていっています。29年度の小学1年生の児童数は90人、わずか4年後の33年度は45人と半分になっています。これがここで止まるのか。この調子で減っていったら、何年もしない間に1クラスになります。1クラスでいろんなデメリットがあるなら、清和台に小学校がなくなるのですか。こういうことを今から考えていかないともう遅いのではないですか。

これまでの推計で、極めて減少率が厳しいと考えています。市として10年後20年後30年後に、小学校がどういう風になっていくのか、基本的な考え方を出して、その中で教育としてどうしていくのか検討しなければなりません。

基本的に、まずは子どもの教育を第1に、続いて通学距離、3つ目に地域コミュニティとも関連付けてということで、コミュニティに学校がなくなるということは極めて厳しい状況かなと。通学が今でも厳しい状況のところ、それを越えて統合が果たして出来るのかということは、検討していかねばならないと思います。コミュニティを越えて学校を統合する

ということは、他市町ですでにされているところもありますが、それが本当に良いのかということと、それを受けてひとつの考え方として、コミュニティに学校は残し、小学校中学校でひとつの学校を作って縦の関係を作りながらいくという考え方があると思います。そして清和台中学校どうなるのか、けやき坂小学校はどうなるのか、ということは推計を元に考えていかなければなりません。考え方としては先ほど言った3点が大事になってくると思います。

#### <未就学 保護者>

要望です。子どもが新しいところに入っていくというのは、心理的ストレスが強いことかと思えます。担任の先生や他の教員の方は心理的な面のプロではないと思えますので、統合をした時からプロのカウンセラーを置いていただいて、子どもが不安を感じた時などに、子どもたちのストレスを緩和していただけるようなことを考えていただければ嬉しいと思います。

要望として受けさせていただきます。まず子どもがストレスを感じないようにすることが大前提だと思います。そのために合同で出来ることを行っていき、少しずつ不安を取り除いていくということがまずひとつ。そしてプロのカウンセラーをということで、現状を申し上げますと、7中学校に1人ずつ、小学校16校のうち4校にスクールカウンセラーを配置しており、カウンセラーがいない小学校については中学校の方に要請をあげて、小学校に来てもらってカウンセリングしてもらおうということで進めています。

今回の統合に関しまして、今後スクールカウンセラーを増員できるのか、また違う形で人的な支援はできるのか、検討させていただきたいと思っています。

#### <地域の方>

今日は説明会をしていただきありがとうございました。説明会をこれで終わるのではなく、次回どこかで開催していただいて、いろんな地域の声を聞いていただいたほうが良いのではないかと思います。来年1年生が入ってこられる4月以降にでも、その親の方にも入っていただいて、また聞いていただければいいのではないかということについて、検討に値するかどうか伺いたいと思います。

引き続き継続的に開催させていただきたいと思えますし、出てきた内容についてどのように情報発信するのか検討させていただきます。開催時期や方法については、地域の方のご意見をお聞きしながら考えていきたいと思えます。基本的にはあまり間隔を置かずに、その時に用意できる答えをお示ししたうえで開催したいと考えています。

---

終了